学校番号	T1202

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	課題研究	単位数	２単位	年次	３～４年次
使用教科書	家庭基礎「気づく力　築く未来」（実教出版）						
副教材等	実習教材、プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう。
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
生活産業の各分野について体系的・統計的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術をみにつけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
生活産業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
課題を解決する力の向上をめざして自ら学び、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活産業の各分野に関する専門的な知識を習得している。	設定した課題解決のため、これまで学習した専門的な知識を生かした方法を選択及び実践することができる。	生活産業に関する各分野について興味・関心をもち、授業に積極的に参加している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	食生活について	○食において栄養計算について学び、知る。 ○栄養計算はどこで使われているか調査、研究する。	a:栄養計算に、必要な知識を身に付けている。 b:栄養計算がなぜ行われるのか課題を見出し、自ら主体的に判断・表現することができる。 c:栄養計算がどこで何のために使われているか、意欲的に考え、取り組んでいる。	ワークシート記述	作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価
後期	衣生活について	○被服において、被服製作をを行い、被服の役割などを知る。 ○自分や他人が被服を選ぶにはどのような基準で選んでいるかを知り、調査し、研究する。	a:被服の用途、役割について必要な知識・技術を身に付けている。 b:被服の用途、役割について、課題を見出し、自ら主体的に判断・表現することができる。 c:被服の用途、役割について意欲的に考え、取り組んでいる。	ワークシート記述	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価
	住生活について	○住居において、ミニチュアを作ることで、自分が求めている家は何かを知る。 ○自分が求める家・人が求めている家を調査し、研究する。	a:住居について必要な知識・技術を身に付けている。 b:住居について、課題を見出し、自ら主体的に判断・表現することができる。 c:住居について調査し、研究しそれらに意欲的に考え、取り組んでいる。	ワークシート記述	作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度